

# Autonomous APでのSSIDの設定

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[スイッチ側からの設定](#)

[方法1:GUIを使用したAPでのSSIDの設定](#)

[方法2:CLIを使用してAPにSSIDを設定する](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco IOS®で単一のVLANを使用してService Set Identifier(SSID)を設定するプロセスについて説明します。

を参照。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

SSIDは、ワイヤレスネットワークデバイスでワイヤレス接続を確立して維持するために使用される固有識別情報です。AP無線は無効で、デフォルトのSSIDは割り当てられていません。これ

は、不正ユーザがデフォルトのSSIDを持ち、セキュリティ設定のないアクセスポイントを介してユーザのワイヤレスネットワークにアクセスすることを防ぐために行われます。アクセスポイントの無線インターフェイスを有効にする前に、SSIDを作成する必要があります。

ネットワークまたはサブネットワーク上の複数のアクセスポイントは、同じSSIDを使用できません。SSIDは大文字と小文字を区別する最大32文字の英数字です。SSIDにスペースを含めることはできません。

最初の文字に以下の文字は指定できません。

- 感嘆符 (!)
- ポンド記号 (#)
- セミコロン (;)

次の文字も無効でSSIDには使用できません。

- プラス記号 (+)
- 閉じ大カッコ (])
- スラッシュ (/)
- 引用符 (")
- Tab
- 不規則なスペース

Cisco Aironet アクセスポイントには、最大16のSSIDを設定でき、各SSIDに異なる設定を割り当てることができます。デュアル無線のワイヤレスデバイスでは、作成したSSIDが両方の無線インターフェイスで有効になります。クライアントデバイスは、アクティブなSSIDのいずれかを使用してアクセスポイントに関連付けることができます。

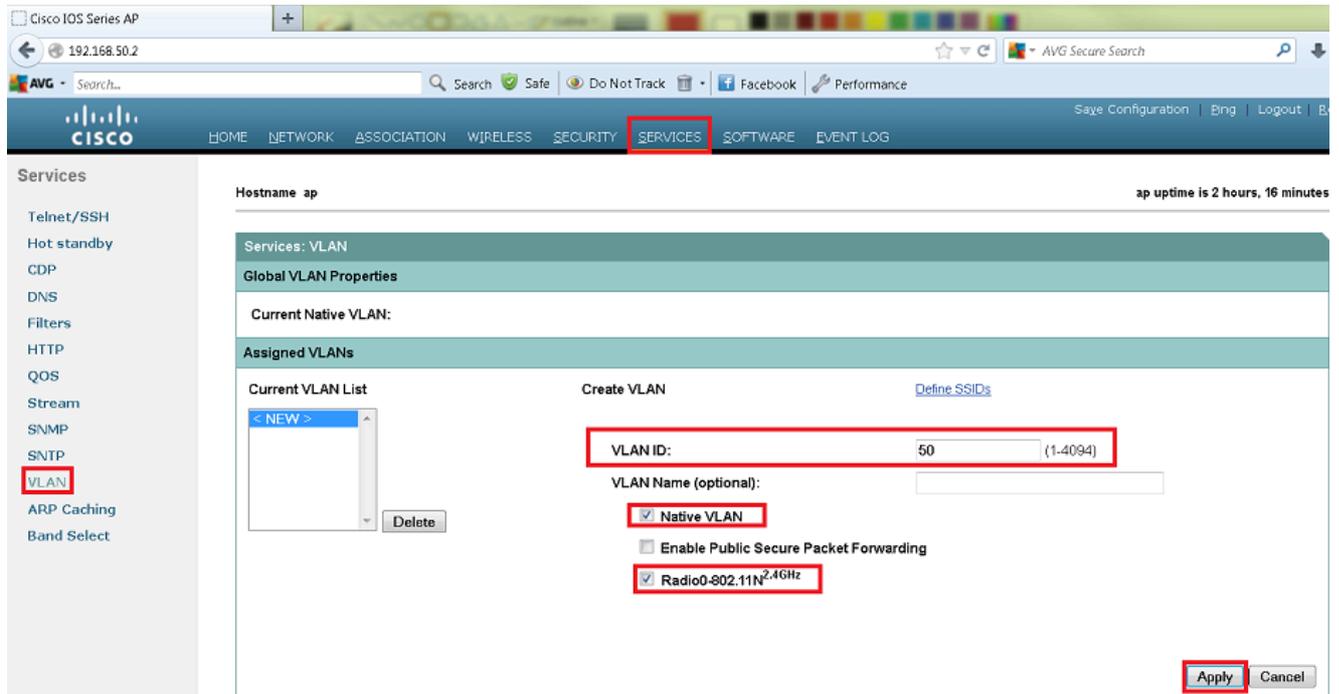
## 設定

### スイッチ側からの設定

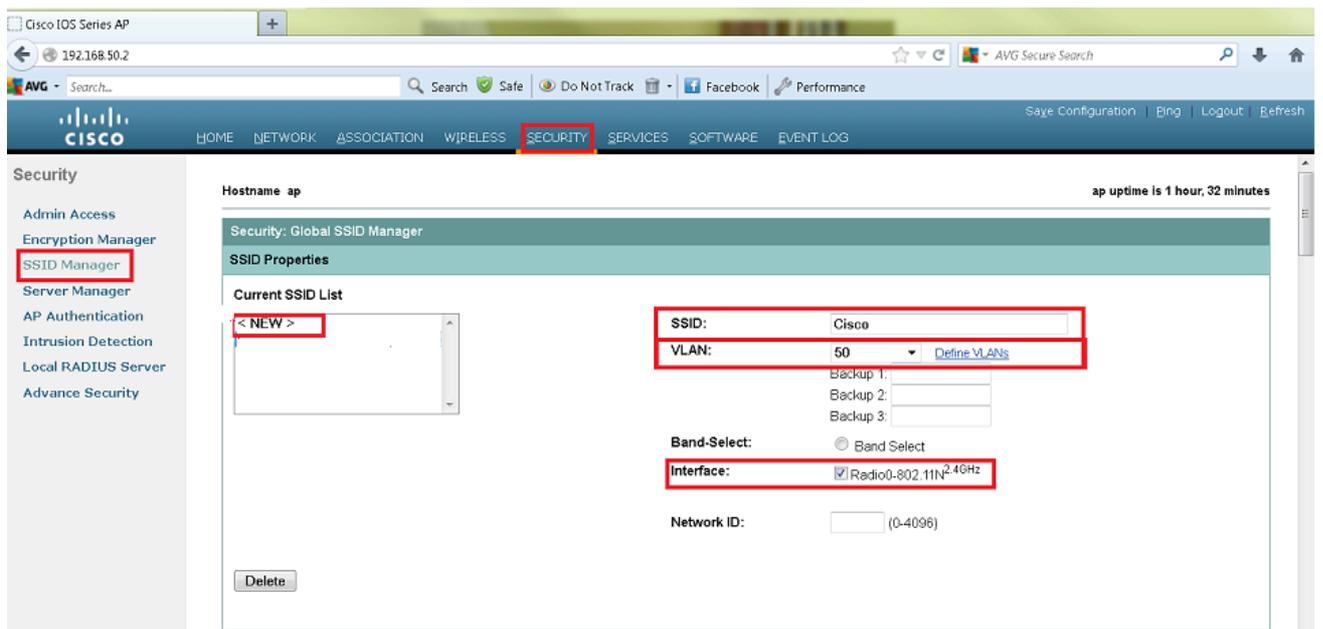
```
en
conf t
int Gig 1/1
switchport mode trunk
switchport trunk encapsulation dot1q
switchport trunk native vlan 50
switchport trunk allowed vlan 1,50
```

### 方法1:GUIを使用したAPでのSSIDの設定

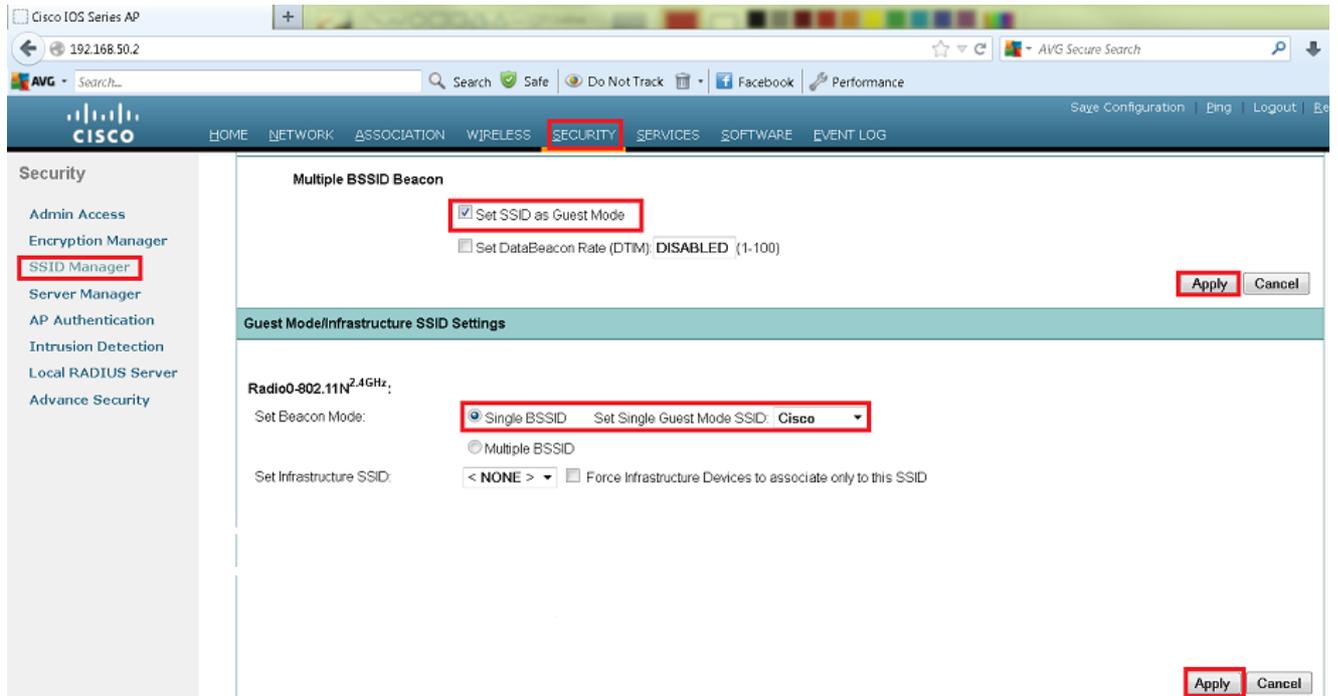
1. SSID用のVLANを作成します。



2. SSID を作成し、VLAN を割り当てます。



3. SSID をブロードキャストします。



## 方法2:CLIを使用してAPにSSIDを設定する

1. SSID を設定し、VLAN にマッピングします。

```
Enable
Conf ter
Dot11 ssid Cisco
Vlan 50
Authentication open
Guest-mode
End
```

2. DOT11 無線 0 とギガビット イーサネット インターフェイスを設定します。

```
>Conf t
interface Dot11Radio 0
ssid Cisco
Exit

Interface Dot11Radio 0.50
Encapsulation dot1Q 50 native
Bridge-group 1
Exit

Interface GigabitEthernet 0
Bridge-group 1

Interface GigabitEthernet 0.50
Encapsulation dot1Q 50 native
Bridge-group 1
```

---

 注：ネイティブVLANは常にブリッジグループ1にマッピングされる必要があります。  
無線がどちらもアクティブである場合、無線0のように無線1を設定します。

---

## 確認

このセクションでは、設定が正常に動作していることを確認します。

- APからスイッチのVLANインターフェイスにpingを実行します。
- APでshow dot11 associations、コマンドを入力します。SSIDに関連付けられたクライアントを確認する必要があります。

```
<#root>
```

```
ap#
```

```
show dot11 associations
```

```
802.11 Client Stations on Dot11Radio0
```

```
SSID [Cisco] :
```

MAC Address	IP address	Device	Name	Parent	State
0811.967e.c384	192.168.50.4	ccx-client	ap	self	Assoc

関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。